

丸亀市「ゼロカーボンシティ」宣言

～2050年までに温室効果ガス排出ゼロを目指します～

近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響により、世界規模で深刻な自然災害が発生しています。

また、日本各地においても、台風の巨大化や集中豪雨などによる甚大な被害が頻発しており、私たちの生命や財産の危機、さらには自然環境や生態系への悪影響など、全ての生物の生存を脅かす「気候危機」と言うべき極めて深刻な事態となっています。

こうした状況を踏まえ、2015年に合意されたパリ協定では、「産業革命からの平均気温上昇の幅を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されるとともに、2018年に公表されたIPCC(国連の気候変動による政府パネル)の特別報告書においては、この目標を達成するために「2050年までにCO₂の実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。

このような中、SDGsの理念に基づき、持続可能なまちづくりを目指す本市においても、まちづくりの将来像として掲げる「豊かで暮らしやすいまち 丸亀」の実現に向け、市民の皆様や事業者等と共に、本市における温室効果ガス排出量を2050年までに実質ゼロとするための取組を進めることをここに宣言します。

令和3年6月10日

丸亀市長 **松永恭二**